

## 目次

第1章 ポイントクラウドと闘う	5
1-1. 点群データを取り込んでみる	6
1-1-1. テキスト形式のデータをインポートする	6
1-1-2. LAS 形式のデータをインポートする	9
1-2. 点群データを動かしてみる	11
1-2-1. プロジェクトデータに読み込む	11
1-2-2. 2D で表示する	11
1-3. 点群データをエクスポートする	15
1-3-1. データ全域を 1 ファイルにエクスポートする	15
1-3-2. 点数や領域を制限してエクスポートする	16
1-4. 点群データを制御してみる	17
1-4-1. カタログレイヤーを作成する	17
1-4-2. カタログレイヤーをプロジェクトに登録する	18
1-4-3. 既存カタログレイヤーの読み込みと編集	19
1-4-4. カタログレイヤーによるファイル単位での描画設定	20
1-5. 3D 表示あれこれ	22
1-5-1. ポリゴンの 3DView	22
1-5-2. 注記の 3DView 表示	24
第2章 ポイントクラウドを乗り越える	25
2-1. 崖等の傾斜地を対地高度一定で撮影する	26
2-2. 点群データから高さデータを集計する	32
2-3. 点群データから断面図を生成する	34
第3章 様々大量画像を克服する	39
3-1. 地理院地図タイル画像を広域イメージに登録	40
3-2. ベクターデータを Web メルカトルタイル画像で保存	42
3-3. タイル形式の画像ファイル群を背景に表示	44
3-3-1. [タイル形式画像背景表示設定] で設定	44
3-4. WMS/ WMTS サイトからのラスターデータを背景に表示	46
3-4-1. WMS サイト	46
3-4-2. WMTS サイト	48
3-5. 表示する地理院地図を追加する	50

<b>1章</b> ポイントクラウド と閲覧	<b>3-6. 画像を重ね合わせた時の表現</b> .....	<b>52</b>
	3-6-1. 「ブレンドモード」について .....	52
	3-6-2. 「透過色」について .....	52
<b>第4章 PostGIS を乗りこなす</b>		<b>53</b>
<b>2章</b> ポイントクラウド を乗り越える	<b>4-1. PostGIS の概要及び PC-MAPPING からの利用についての概要</b> .....	<b>54</b>
	<b>4-2. 環境準備</b> .....	<b>55</b>
	4-2-1. PC-MAPPING で PostGIS を利用するための準備の概要 .....	55
	4-2-2. PostgreSQL の導入 .....	55
	4-2-3. pgAdmin の起動及び更新、メニューの日本語化、PostGIS の導入 .....	62
	4-2-4. ODBC ドライバーの導入 .....	67
	<b>4-3. データ準備</b> .....	<b>70</b>
	4-3-1. PostgreSQL に PostGIS データベースの追加 .....	70
	4-3-2. PC-MAPPING による PostgreSQL への空間データの格納 .....	72
	4-3-3. 既存の PostgreSQL 空間データの復元 .....	74
	<b>4-4. 利用</b> .....	<b>77</b>
	4-4-1. PC-MAPPING へのデータの登録 .....	77
	4-4-2. 表示の制御 .....	81
<b>第5章 隠れた機能を発掘する</b>		<b>85</b>
<b>6章</b> スクリプト	<b>5-1. 他のアプリケーションを簡単に起動する</b> .....	<b>86</b>
	5-1-1. クイックバーにメモ帳起動を割り当てる .....	86
	5-1-2. タスクメニューに Web サイトをブラウザで開くタスクを追加する .....	88
	<b>5-2. 特定パターンのレイヤー表示・非表示を一括で切り替える</b> .....	<b>90</b>
	5-2-1. 複数レイヤーをまとめて非表示にする .....	90
	5-2-2. 全レイヤーを一括表示する .....	91
	<b>5-3. レイヤーの指定ベクター種類のみ属性照会を禁止する</b> .....	<b>93</b>
	5-3-1. レイヤーエキスパートによる設定 .....	93
	5-3-2. コマンドを使って属性照会禁止を切り替える .....	95
	<b>5-4. レイヤーの描画設定を切り替えて色塗りを瞬時に変える</b> .....	<b>96</b>
	5-4-1. クイックバーのラジオボタンに描画切り替えを設定する .....	96
	<b>5-5. メニューにないコマンドや連結コマンドをキーボードで一発実行する</b> .....	<b>99</b>
	5-5-1. クイックバーの差し替えを Ctrl+ 数字キーに割り当てる .....	99
	5-5-2. 作図コマンドを F7・F8・F9 キーに割り当てる .....	103
	<b>5-6. コマンドラインバーの表示・非表示を簡単に切り替える</b> .....	<b>106</b>

5-7. 特定のプロジェクトで、コマンドをマウス操作に割り当てる .....	107
5-8. スクリプトを使わずコマンド実行を分岐させる .....	109
5-8-1. ポリゴン属性選択実行後、該当有無で処理を分ける.....	109
5-8-2. 確認メッセージを表示し【OK】ボタンが押されたときだけ全ポイントを削除する .....	111
5-9. アーク曲線に沿った注記をアーク個別に設定する.....	112
<b>第6章 スクリプトに挑戦する オートメーションことはじめ</b>	<b>113</b>
6-1. スクリプトを書く .....	116
6-1-1. スクリプトを書く準備をする .....	116
6-1-2. スクリプトを書く .....	118
6-1-3. スクリプトを保存する .....	118
6-2. スクリプトを動かす .....	119
6-2-1. スクリプトを動かす準備をする.....	119
6-2-2. スクリプトを動かす .....	121
6-3. スクリプトを書き換える .....	122
6-3-1. エラーメッセージを表示する .....	122
6-3-2. 処理を繰り返す .....	124
6-3-3. パラメーターを設定する .....	126
6-4. いろいろな方法でスクリプトを動かす .....	128
6-4-1. ユーザーメニューから動かす .....	128
6-4-2. クイックバーから動かす .....	130
6-4-3. タスクメニューを設定する .....	132
6-4-4. コマンド化して動かす .....	134
6-5. したいことを探す .....	136
6-5-1. したいことを探すには.....	136
6-5-2. スクリプトの解説 .....	141
6-5-3. コマンドをメソッドに置き換える.....	147
6-6. 描画を変更する .....	151
6-6-1. 準備 .....	151
6-6-2. 解説 .....	151
6-6-3. 実行 .....	154
6-7. ベクターを検索する .....	155
6-7-1. 準備 .....	155
6-7-2. 解説 .....	155
6-7-3. 実行 .....	157

6-8. 属性を転記する .....	158
6-8-1. 準備 .....	158
6-8-2. 解説 .....	158
6-8-3. 実行 .....	161

## 第7章 データを公開する 161

7-1. PC-MAPPING Smart Web Extention(SWE) とは .....	164
7-2. プロジェクトからラスタータイルを生成 .....	165
7-3. プロジェクトからベクトルタイルを生成 .....	166
7-4. SWE でタイルを表示 .....	169
7-4-1. SWE のサイトを構築 .....	169
7-4-2. SWE のサイトへ生成したタイルをコピー .....	169
7-4-3. SWE のサイトにタイルを表示する設定 .....	170
7-4-4. 簡単にローカルマシンで WEB 表示 .....	177
7-5. 機能紹介 .....	178
7-5-1. レイヤーと凡例 .....	178
7-5-2. レイヤーのプロパティ .....	178
7-5-3. 地図コントロール .....	180
7-5-4. 属性表示 .....	180
7-5-6. 各種設定の規定値 .....	183

## 付録 弓折れ矢尽きた場合は・・・ 付録 1

問い合わせる .....	付録 2
環境を伝える .....	付録 7
データを送る .....	付録 9
カスタマイズを依頼する .....	付録 10